

大幅増員で夜勤改善を 日本医労連増員闘争ニュース

第 102 号

2010 年 10 月 29 日

日本医労連

増員・夜勤改善闘争本部

TEL:03-3875-5871

第 23 回介護、福祉労組全国集会を 2 全国組合 19 県医労連 62 名で開催



第 23 回介護労組、福祉労組全国集会が 2010 年 10 月 23 日、24 日に開催され 2 全国組合、19 県医労連、35 単組から 62 名が参加しました。

記念講演は、来年の介護保険改正法・案での地域包括ケア、お泊りデイ、24 時間巡回型訪問介護などにある問題点を鋭く突く内容に

1 日目の全体会は、講演会として「あいつぐ介護事件・事故から見える介護保険の問題点と介護労働者に期待するもの」と題し曾我千春氏（金沢星稜大学人間科学部准教授）に講演を頂きました。この間の介護事業所での事件、事故の検証と介護保険の抱える問題点が浮き彫りにされ、2011 年国会で法案提出が予定され、現在、審議会が行われている地域ケア構想での複合型施設、24 時間巡回型訪問介護、お泊りデイ等の問題点も浮き彫りにし情勢にマッチした講演になりました。



介護分野は 3 年余の集中した運動で組合員が急増し、運動も全国に広がる前進を築く

基調報告は介護と障害者、児童福祉の課題での情勢と方針提起を日本医労連・原書記次長が行いました。介護分野の取り組みは、「この 3 年余で運動もひろがり、組合員も急増させ大きな前進を作った。介護やヘルパーの組合員が続々加入している」「介護セミナーやヘルパー集会は、前年 11 県から今年は 26 県組織で取り組みが行われ半数を超える県医労連に広がっている」「介護・障害者処遇改善交付金など成果を大いに前進させるため 120 万人もの介護労働者に組合加入を訴える運動がもっと必要」との提起に対し、特別報告は介護と福祉から 4 名が行い、介護では県段階での介護セミナーやヘルパー集会を未組織事業所を含め成功させている愛知県医労連や長野県医労連の特別報告に「帰ったら、ぜひ、やってみたい」「参考にしたい」と好評でした。

特別報告に「帰ったら、ぜひ、やってみたい」「参考にしたい」と好評でした。

障害者の分野では、重心の要求課題で政府に対する要求を作成し、日本医労連加盟の対象組合と、重心施設に対する共同の呼びかけを行う

福祉の課題では、障害の分野での自立支援法の廃止と新たな総合福祉法の制定までの運動の強化と、全医労が精力的に取り組んでいり重心の課題を日本医労連として産別課題として、取り組みを社会的な問題に広げることがを提起しました。福祉分野の特別報告では、全医労から「障害者自立支援法の下での要求政策づくりと、重心・筋ジス職場の運動」、群馬・二之沢愛育会労働組合から「同性介護、介助の実践」が報告されました。

2日目は分科会は、介護と福祉（障害、児童）に分かれて行い、この間の前進回答の交流、署名運動や自治体交渉などの交流、組織拡大・介護の役員づくり、医労連共済推進で相互交流し、いきいきとした取り組みが行われていることが語られました。

集会のまとめ 来年、ねらわれているヘルパーの生活援助の保険外しには、断固反対し、全国から運動を提起する。

運動では、4点が強調され提起されました

- ①・ 国各地の取り組みの報告・集中
- ②・ 組合内の未加入者の加入、未組織の組合づくりをいっそう重視する
- ③・ 介護セミナー、ヘルパー集会を全国各地で取り組む
- ④・ 介護、ヘルパーの役員づくりを進める

集会のまとめを原書記次長が行いました。政府がねらっている生活援助の保険外し等の問題が浮上していることに対し、日本医労連として抗議の意思が全国の加盟組合から政府に届けられるよう、方法を検討して組織対応する。また、運動場の強化点として4点を強調しました。第1は、各地での取り組みや情報を本部に集中し宣伝を強化する、本部からは、ニュースも作り加盟組合に今まで以上に情報提供を行う。第2には、なんといっても組織の拡大を重視する。第3には介護セミナー、ヘルパー集会はすべての組織で開催しよう。第4に、運動が広がるなかで足りないのは役員だ、とし、みんなが役員になり、要求を前進させようと締めくくりました。



**◇全国各地の介護セミナー、ヘルパー集会の取り組みをご報告ください
全国にニュースで紹介してゆきます！**

みんながんばろうね！

